

茨城県鹿島港で震災後初の輸送始まる

3月23日、我が国最大級の飼料コンビナートを有する鹿島港の南公共ふ頭において、2隻の貨物船が入港し、飼料副原料の取り扱いが再開されましたので、お知らせいたします。

東北地方太平洋沖地震発生後、航路啓開や岸壁の応急復旧により利用可能となった茨城県内の公共ふ頭を利用した初の輸送となります。

今回入港した船舶の概要



入港日時：平成23年3月23日(水) 8:00
利用岸壁：南公共ふ頭 E 岸壁
船名：金力丸 499Gt (内航船)
仕出港：清水港
積荷：飼料副原料 (大豆粕) 1,200 t



入港日時：平成23年3月23日(水) 12:50
利用岸壁：南公共ふ頭 G 岸壁
船名：FUSHIMI 12,963Gt (外航船)
仕出港：インド
積荷：飼料副原料 (大豆粕) 5,000 t

(参考)

港名	地区名	岸壁名	吃水	供用開始日時	備考
鹿島港	南公共ふ頭	E	6m	3/22 10:00	本来水深:7.5m
		G	6m	3/22 10:00	本来水深:10m

※一部供用を開始した茨城県内の岸壁の情報は「関東地方整備局港湾空港部の東北地方太平洋沖地震情報」のHPをご覧ください

本件問い合わせ先

茨城県 土木部 港湾課長 須藤 賢一 (電話 029-301-4516)

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾計画課長 東平 伸 (電話 045-211-7415)